

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M313A102	医療英語Ⅱ (Medical Personnel English II)	融合人材育成科目 国際力強化科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	1	後期	火曜・4限	チドウロウ・ショーン 内線：5617 E-mail：chidlow@oita-u.ac.jp

#### 【授業の概要・到達目標】

本講義では、医療英語Ⅰに引き続き、日本医学英語検定試験4級レベルの疾患名を学び、中級レベルの医療に関する英語のニュースや比較的容易な医学論文のアブストラクトを読む能力を育成することを目的とする。また、医療に関する英文に加えて、英語多読を行い、英語を自発的・積極的に読む態度の育成を継続的に行いながら、比較的易しい英文を120wpm以上のスピードで英語を読み、その内容や自分の意見を英語で的確に伝えることができる表現力の育成を行う。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. 医学英語検定試験4級レベルの医学英語語彙の意味や定義を日本語や英語で簡潔に説明できる	○				○	
2. 比較的易しい英文を120wpm以上のスピードで読み、その要旨を日本語または英語で説明できる	○	○				
3. 読んだ内容に関する自分の意見を英語で表現することができる		○				
4. 積極的かつ自発的に洋書を20000語以上読む	○					○

#### 【授業の内容】

1	授業ガイダンス (授業のねらい・到達目標・評価方法・授業概要説明)・多読オリエンテーション
2	Quiz 1、多読、教科書：Chapter 7「ハンズオンリーCPRであなとも人命が救えます」
3	Quiz 2、多読、教科書：Chapter 8「災害医療には心のケアも並行して」
4	Quiz 3、多読、教科書：Chapter 9「笑いは最高の妙薬」
5	Quiz 4、多読、教科書：Chapter 10「iPSは人類の夢」
6	Quiz 5、多読、教科書：Chapter 11「薬のネット販売に一定のルールを」
7	Quiz 6、多読、教科書：Chapter 12「血液検査による出生前診断、始まる」
8	Quiz 7、多読、教科書：Chapter 13「医療通訳で大切なことは？」
9	Quiz 8、多読、教科書：Chapter 14「世界の子どもの現状を知ろう！」
10	Quiz 9、多読、教科書：Chapter 15「医師になるのはいばらの道」
11	Quiz 10、多読、時事ニュース①
12	Quiz 11、多読、時事ニュース②
13	Quiz 12、多読、医学論文①
14	多読、医学論文②
15	多読、まとめと授業評価

#### 【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	Quiz	Quiz、多読レポート、資料の掲示などでLMS (Moodle) の活用。
B：意見の表現・交換	○	グループやペアによるディスカッション・プレゼンテーション	
C：応用志向			
D：知識の活用・創造	○	多読で読んだ本の宣伝文の作成	

#### 【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配布資料や教科書を用いて、Quizの準備を行う(22h)。指定された教科書の該当ページを事前に読む(3h)。
事後学修	配布資料や教科書を用いて、授業内容の復習を行う(10h)。授業課題(ディスカッションやプレゼンテーションの準備・本の宣伝文の作成)を行う(10h)。

#### 【教科書】

川越栄子編著『ニュースで読む医療英語 CD付』 講談社 2019年第5版 (医療英語Ⅰ(前期)・Ⅱ(後期) 通年使用)

**【参考書】**

参考書は指定しない。必要な場合は授業時に指示する。

**【成績評価方法及び評価の割合】**

下記評価項目の合計が、基準点（60点）以上であることを単位取得の条件とする。

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
Quiz	40%	○			
期末試験	40%	○	○		
多読活動での読語数・レポート	10%		○	○	○
授業内の発表・課題	10%		○	○	○

**【注意事項】** 授業には、英和辞書を持参すること。

**【備考】**

教員の実務経験の有無	×	
教員の実務経験		
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容		
授業形態	対面	